

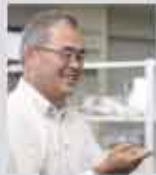


# 患者さんのために、医療現場のために。

テルモは、2016年4月、フェロー制度を新設。技術、研究、臨床開発において、社内外から高い評価を得、功績を上げてきた4名を任命。2回にわたって紹介します。私たちは、世界で絶え間なく変化する社会の環境と、科学と技術の進化の中で、患者さんのいのちに寄り添い、いち早く、医療の現場に新たな価値を届けていくことを目指しています。

## 心臓外科手術を受ける 患者さんの負担を少なく。

心臓外科手術などで、患者さんの心臓と肺の代わりにする人工心肺システム。それまでの人工肺はストローのような中空のファイバーの内側に血液を流し、外側に酸素を通すことで血液中の二酸化炭素と酸素をガス交換していた。野川はそれを逆転させ、中空糸の内側に酸素、外側に血液を流すことで、より効率的にガス交換する人工肺の開発を進めた。これにより人工肺を小型化し、患者さんの体外に循環させる血液量も少なくすることを目指した。現在では、更に改善された人工肺が、以前は困難だった新生児の手術にも、世界中で使われている。



野川 淳彦  
フェロー  
心臓血管カンパニー CV事業

主な功績  
人工肺および関連デバイスの開発、製品化。  
内視鏡下血管採取用デバイスの開発。



人工肺の中空糸が巻かれているパーツ

## 日本で開発し、世界で実用化。 価値ある医療機器を早く届けたい。

日本で開発した医療機器の世界的な展開を考えた時、ヨーロッパから先にデビューさせることが多い。Dr. Paunovic は、その最前線で臨床開発チームを率いる。医師である彼女が製品の価値を判断する物差しは、「患者さんの負担を小さくしたい」その思いで、開発の初期段階からプロジェクトに加わってきた。そして臨床開発では、強力なリーダーシップでチームを率い、臨床試験に関する国際的基準に従ってエビデンスを構築してきた。その安全性と有効性に関するデータは、学会のガイドラインにも引用され、世界で活用されている。



Dragica Paunovic, M.D.

フェロー  
テルモヨーロッパ社 Chief Medical Officer

主な功績  
薬剤誘導型冠動脈ステント、OFDI (光干渉断層診断) 装置の臨床試験を担当。

欧州で行った臨床試験のイメージ (ステントが留置された血管の断面画像)

## Innovating at the Speed of Life